



P450 MDN EQ

ユーザーガイド

Version 1.2

Marc Daniel Nelson: Biography



Marc Daniel Nelson は、グラミー賞とフランスのアカデミー賞にノミネートされたミキシングエンジニア、音楽プロデューサー、クリエイティブディレクターです。彼は 23 年以上にわたり、クリエイティブなコンテンツのミキシング、制作、管理に携わってきました。

彼の音楽クレジットには Fleetwood Mac, Jason Mraz, Joni Mitchell, Colbie Caillat, Eric Burdon, Ben Harper, Need To Breathe, Robert Duvall, Ozomotli, John Fogerty, Reik などがあります。伝説的なプロデューサー/エンジニアの Bill Schnee と Ken Caillat の弟子として、Marc は非の打ちどころのない品質のサウンドとプロダクションのタッチを運んできました。

彼の映画のクレジットには Solo, Blade Runner, The Vietnam War, Mulan, The Expanse, Wild Horses, Point Break, No Manches Frida, Fractured, Amanda, Father Figures, Ya, Ty, Vin, Vona などがあります。

彼のクリエイティブマネジメントの功績には、13 話の PBS テレビシリーズのエグゼクティブプロデュース、Guitar Center の全国ビデオキャンペーンの制作とエグゼクティブプロデュース、Alcon Sleeping Giant, ArtistMax, Produce Like A Pro, Inside Blackbird and Warner Chappell のクリエイティブ・ディレクションがあります。

<https://www.marcdanielnelson.com/>

IMDB: <https://www.imdb.com/name/nm8392038/>

A stylized, handwritten signature of Marc Daniel Nelson in a dark, cursive font.

MARC DANIEL NELSON

Preface

アナログ領域には固有の魔法があります。ダイヤルを操作すると、常にそれを通過するオーディオの音楽的解釈が生まれます。これはデジタル EQ プラグインが直面する制限とは対照的です。見逃された微妙なニュアンスからガラスのような高音やブーミーな低音まで、Digital Auditory 体験の根本的な問題に挑戦し、最終的に解決するのが P450 MDN EQ です。高級でパンチのあるアナログオペアンプ駆動のステレオイコライザーの本質を提供します。

P455 MDN Sidecar EQ モジュールと共通の系譜を持つ P450 MDN EQ は、より包括的で効率的なミキシングに焦点を当てた EQ を提供し、業界で広く求められているパンチのある低中音域の音質を備えています。

P450 LPF と HPF の周波数ポイントは、P455 で見つかるものと相補的です。各フィルターの周波数ポイントは、その共鳴値と個別に調整されており、単純な周波数調整を超える音楽的なタッチが保証されています。

P450 MDN EQ は完全にアナログであり、トランスフォーマー結合回路特有の自然な低周波数のボンプと飽和を特徴としています。アナログ的なリアリズムに加えて、倍率は EQ 曲線の形状と等価の利得での歪みだけでなく、酔わせるような低周波数のボンプの振る舞いにも影響を与えます。

これは典型的なデジタル EQ ではありません。Gain を 6、9、または 12 dB まで押し上げて、P450 MDN EQ が美しい音色をもたらすのを見てください。画面上でかわいいグラフィックスと踊る周波数、圧倒的な機能とアイコンの数、点滅するライトや恐れられるオートゲインときようならして、P450 MDN EQ の喜びに飛び込んでください。

Ziad Sidawi

Audio Equipment Designer & CEO

Pulsar Novation LTD

RMS or PEAK IN / OUT
ラベルまたは数値表示をクリックし、RMS またはピークの入出力メーターを切り替えます

プリセットブラウザ
Default

オプションメニュー
About / License Status / User Guide / Options and Preferences

BIAS
内部ラインアンプをキャリブレーションして、Hot または Cold で動作させます

OUTPUT
クリーンなアウトプットゲイン

LPF / HPF Banks
ローパスとハイパスのフィルターバンクを修正

IN/OUT
バイパスコントロール

極性反転

HI
センター周波数ポイント、ステップゲイン、プロポーションナル Q EQ バンド、Peak または Shelf を選択可能

Peak / Shelf
HI band を Peak (上) または Shelf (下) にしま

HI-MID
センター周波数ポイント、ステップゲイン、プロポーションナル Q ピークフィルター EQ バンド

Gain Multiplier
選択した乗数 (x1、x.5、または x.25) に基づいてすべてのステップゲイン値を調整します

LO-MID
センター周波数ポイント、ステップゲイン、プロポーションナル Q ピークフィルター EQ バンド

Peak / Shelf
LO バンド を Peak (上) または Shelf (下) にしま

LO
センター周波数ポイント、ステップゲイン、プロポーションナル Q EQ バンド、Peak または Shelf を選択可能

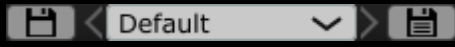
Save - 現在のインスタンスのサイズと位置を保存します

A/B 比較

Analog Variance
STEP は歪みや飽和度の低いオプションを提供します

OS Bypass
88.2 kHz 以上のサンプリングレートで有効です

テーマ選択

 Preset Browser を使用するとプリセットを閲覧、読み込み、保存できます。左の保存アイコンをクリックして現在のプリセットを上書きするか、右の保存アイコンをクリックして新しいプリセットを作成します。左の保存アイコンの隣にはプリセットが元のパラメータから変更されたことを示す赤いアスタリスク * が表示されます。

注意：変更されたファクトリープリセットは、インストールプリセットオプションの選択を解除しない限り、ソフトウェアの更新時に上書きされます。指定されたプリセットとは異なる名前で作成したプリセットは、置換または削除されません。

 オプションメニュー

About — バージョン番号またはデモの有効期限を確認します。

License Status — このオプションを使用してソフトウェアを認証または非認証にします。インターネットが必要です。

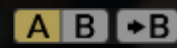
User Guide — PDF 形式でユーザーガイドを開きます。

Set Default Size — 現在の P455 GUI のサイズを新しい P455 インスタンスの挿入時に使用されるデフォルトサイズとして保存します。

Theme Settings — 以下の選択肢に基づいてフェイスプレートとコントロールのビジュアルテーマを切り替えます。


- New：常に New テーマが使用されます。

- Old：常に Old テーマが使用されます。
- Preset：New または Old の選択肢が各プリセットで保存および呼び出されます。このオプションを使用すると、テーマ選択ボタンがオプションメニューボタンの横に表示されます。

 A/B を使用すると異なる設定を簡単に比較することができます。矢印ボタンを使用してアクティブな側を非アクティブな側にコピーできます。

ヒント：設定を比較するとき A/B ボタンをクリックするとトグルが実行されます。これは単一のボタンなのでマウスを交互に移動する必要はありません。これにより、どちらが選択されているかを知らなくても簡単に比較できます。集中するために目を閉じた状態で行うことをお勧めします。

ヒント：プリセットをカスタマイズするときは、プリセットを A と B 両方のスロットにロードし、内容を変更したら元のプリセットに切り替えて比較視聴すると便利です。

 Analog Variance はすべてのアナログ機器の特性です。ランダムな変動は、電氣的干渉、熱雑音、コンポーネントの欠陥、環境条件などのさまざまな要因によって発生する可能性があります。これにより、信号に小さな変動や歪みが生じ、元の形式からわずかに逸脱する可能性があります。

デフォルトの STEP オプションをオンにすると、P450 はインスピレーションとなったアナログギアのザラザラしたア

グレッシブな雰囲気を与えます。SMOOTH オプションを有効にすると、歪みと彩度が軽減されます。

ヒント：SMOOTHオプションをデフォルトにしたい場合は、単にデフォルトプリセットを開き、SMOOTHアイコンに切り替えてプリセットを保存してください。

OS OS OS は EQ のオーバーサンプリングを有効または無効にします。このオプションは、サンプルレートが 88.2 kHz 以上の場合に使用できます。48 kHz 以下のサンプルレートでは常にアクティブになります。

UI NEW 新品同様の外観またはヴィンテージの宝物のような外観を選択できます。いずれの場合も音は変わりません。



BIAS は LINE AMP 回路の増幅動作ポイントを設定し、「ホットに実行」または「クールに実行」させます。

BIAS をプッシュ（時計回り）またはプル（反時計回り）すると、よりタイトで前向きでアグレッシブなトーン（プッシュ）または、よりリラックスした深みのあるトーンで、より明瞭でスペースのあるトーン（プル）にします。



RMS (二乗平均平方根) メーターとピークメーターは、オーディオ信号レベルを測定する 2 つの異なる方法であり、信号のさまざまな側面に関する洞察を提供します。

ピークメータリングは、信号の最高の瞬時レベルを識別することに重点を置っていますが、RMS メータリングは、より平均化された持続的な測定を提供し、時間の経過とともに信号の知覚されるラウドネスをより適切に表現します。

RMS OUT / RMS IN または PEAK OUT / PEAK IN ラベルまたは数値表示をクリックして、これらのオプションを切り替えます。

注意：選択した RMS または PEAK オプションは、プリセットを保存すると保存されます。



OUTPUT ノブは、最終出力段階でクリーンなデジタルブーストまたはカットを提供します。



LPF (ローパスフィルター) と HPF (ハイパスフィルター) バンクは、4 つの周波数帯域の後に配置されます。

ローパスフィルターは非常に滑らかで、ハイパスフィルターは非常にユニークなデザインにより特にパンチが効いています。これらは、一般的な既製の汎用フィルターではありません。

周波数ポイントボタンをクリックすると、オンとオフが切り替わります。バンクごとに 1 つの周波数ポイントをオンにできます。

ヒント：バンドまたはシェルフEQをこれらのフィルタにプッシュすると、美しい粘土のような形状が生成されます。単純な例として30 HzのHPFを有効にして、30 Hzのキックドラムに2 dBの低いシェルフバンプを試して、同時に引き締めと強化を試してみてください。または3 kHzのLPFと2.5 kHzのドラムグループの高いシェルフで4 dBブーストを試してみてください。これにより、ドラムが収束し、焦点が合い、高い周波数が少なくなり、非常にパンチの効いたサウンドになります。



IN/OUT はバイパスコントロールで、オーディオ信号を処理せずに通過させることができます。



信号の極性を反転させます



P450 には上から下に論理的に配置された4つの周波数バンド HI、HI-MID、LO-MID、LO があります。

各バンドには選択可能な周波数ポイントと、プロポーションナルQでステップごとのゲインがあります。ここで、Qファクターはブーストまたはカットの量に基づいて動的に調整され、ブーストまたはカットの量が増加すると、Qが比例して狭くなります。

各周波数ポイントは、各ゲインステップと乗数設定で耳で細かく調整され、すべての詳細に職人技が表れています。

EQバンドを一時的にバイパスするには、CTRL + ALT (Windows) または CMD + OPTION (macOS) を押したまま、マウスをコントロールの上に置いてください。キーの組み合わせを押したまま他のEQバンドの上にマウスを置くことで、さらにバイパスできます。



上部と下部のバンドは、対応するピーク/シェルフスイッチを使用して、ピークまたはシェルフイングフィルターとして設定できます。上向きの方はピークを、下向きの方はシェルフを選択します。



Gain Multiplier スイッチは、選択した位置に応じてステップ単位のdBゲイン量を変更します。

計算は、選択したオプション (x1、x.5、またはx.25) をゲインノブの目盛りに対応する値で乗算することによって行われます。

ヒント: x1の乗数を使用して2 dBのゲインを得る場合と、x.5の乗数を使用して4 dBのゲインを得る場合は、類似したゲイン値を得るかもしれませんが、周波数ポイントとQの形状が若干異なります。したがって、使用するオーディオに最適なものを聴いて確認してください。

注意: ゲイン調整するか、ゲインノブをクリックすると、選択されたGain Multiplierの値で計算された数値がポップアップ表示されます。

Managing Presets

Basics

プリセットのインストールオプションがインストール中に選択解除されない場合、インストーラーは工場出荷のプリセットを上書きします。ユーザーが作成したプリセットは変更されません。工場出荷のプリセットに加えた変更を保護し、アップデート中にそれらを保存するためには、インストーラーを実行する際にインストールプリセットオプションを選択解除するようにしてください。また、プリセットブラウザの右側にある「保存」オプションを使用して、異なる名前で独自のプリセットを保存することを忘れないでください。

Backing Up Presets

プリセットは、オペレーティングシステムのファイルマネージャを使用してバックアップおよび復元できます。個々のプリセットファイルまたは完全なプリセットフォルダを選択し、選択した場所にコピー/ペーストを実行してください。プリセットフォルダは、次の場所にあります。

For Windows

「C:\Users\Public\Documents\Pulsar Modular\P450 MDN EQ\Presets」

For macOS

「/Users/Shared/Pulsar Modular/P450 MDN EQ/Presets」

General

Mouse and Key Modifiers

Fine adjustment of knobs, sliders and other controls

macOS ではコントロール (^) を押しながら左クリック、Windows では CTRL を押しながら左クリック、または修飾キーなしで右クリックして、ノブやスライダーを微調整できます。

Return controls to their default state

macOS ではオプション (⌥) を押しながら左クリック、Windows では ALT を押しながら左クリック、またはダブルクリックしノブやスライダーをデフォルトの状態に戻ります。

Temporarily bypass one or more EQ bands

macOS ではコマンド + オプション (⌘ + ⌥) を押しながら左クリック、Windows では CTRL + ALT を押すと、修飾キーが離されるまで、サポートされているコントロールが動的に無効になります。

Enable parameters for automation (Pro Tools only)

Pro Tools の機能：macOS では control + command + option (^ + ⌘ + ⌥) を、Windows では CTRL + ALT + START (⊞) を押すと、オートメーションのプラグインパラメーターを有効にできます。

Uninstalling P450 MDN EQ

For Windows

- VST3 「C:\Program Files\Common Files\VST3」 中にある「P450 MDN EQ.vst3」を削除してください。
- AAX 「C:\Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins」 中にある「P450 MDN EQ.aaxplugin」を削除してください。
- **共有** 「C:\Users\Public\Documents\Pulsar Modular」 中にある「P450 MDN EQ」を削除してください。
このフォルダにはユーザーガイドとプリセットが含まれています。「Pulsar Modular」の中に何もなければ、このフォルダごと削除することが可能です。

For macOS

- AU 「/Library/Audio/Plug-Ins/」 中にある「P450 MDN EQ.component」を削除してください。
- VST3 「/Library/Audio/Plug-Ins/」 中にある「P450 MDN EQ.vst3」を削除してください。
- AAX 「/Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins」 中にある「P450 MDN EQ.aaxplugin」を削除してください。
- **共有** 「/Users/Shared/Pulsar Modular」 中にある「P450 MDN EQ」を削除してください。
このフォルダにはユーザーガイドとプリセットが含まれています。「Pulsar Modular」の中に何もなければ、このフォルダごと削除することが可能です。

Restrictions

ユーザーは、PULSAR NOVATION LTD オーディオプラグインを逆アセンブル、解析、再サンプリング、インパルスレスポンスプロファイルの作成、再録音、デコンパイル、修正、変更、全体または一部で賃貸、リース、配布、営利または非営利を問わずの再梱包などの目的で利用するために、全体または一部を逆にエンジニアリングすることはできません。

Plugin Concept / GUI Design: Marc Daniel Nelson
DSP Engine Design: Ziad Sidawi
Plugin Development: Pulsar Modular Team
GUI Development: Max Ponomaryov / azzimov GUI design – www.behance.net/azzimov
User Guide (EN): Kevin Eagles
User Guide (JA): Naruki Konagaya

Preset Creators: Max Ponomaryov (AZ) Ziad Sidawi Brad Smith (BS)

Testers: Leo Alvarez Jason Fernandez Matthias Klein
Eric Bridenbaker Scott Fritz Mark Pixley
Brian Carr Ross Harvey Niklas Silen
Les Cooper Ry Herma Brad Smith
Kevin Eagles Thomas Juth Marc Smith
Thomas Etholm-Kjeldsen Ilpo Kärkkäinen Hilton Stroud
Gus Granite Naruki Konagaya Stephen Wright

Please kindly report any errors or omissions in this user guide to psupport@pulsarmodular.com.

To print this guide, we recommend using a free pdf color inversion service like <https://invert-pdf.club>.

Copyright 2024, Pulsar Novation Ltd.

P/N: 33923, Rev. 1.2

Pulsar Modular is a registered trademark of Pulsar Novation Ltd.

P455 MDN Sidecar is a plugin name owned by Pulsar Novation Ltd.

AAX and Pro Tools are trademarks of Avid Technology. Names and logos are used with permission.

Audio Units is a trademark of Apple, Inc.

VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.

The intellectual property rights, including names, logos, and trademarks associated with studio equipment and accessory brands, including API, belong to their respective owners and are not affiliated with Pulsar Modular or Marc Daniel Nelson. This plugin is designed to replicate the unique audio equalization, compression, and summing envisioned by Pulsar Modular and Marc Daniel Nelson. Any use of names, logos, or trademarks is solely for identification purposes to illustrate the hardware chain and audio workflow that inspired this product.

Pulsar Novation Ltd.

Demircikara District, 1419 Street, Ocean City Block B, Floor 4

Muratpaşa, ANTALYA 07100 +90-530-111-4907

www.pulsarmodular.com